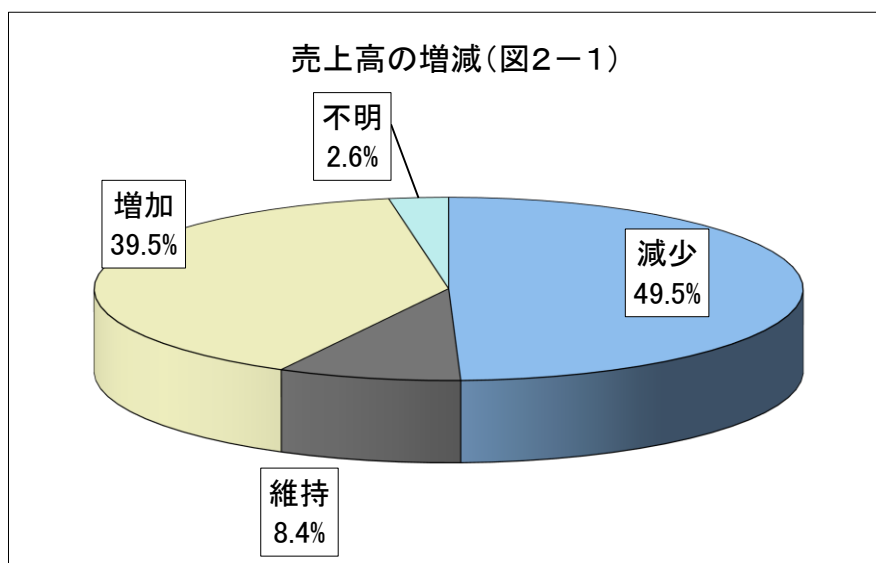


## 2 営業成績の状況

### (1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、39.5%の業者が前期に比べ売上高が増加した。一方で、49.5%の業者が売上高を減少させている。前年と比べると、増加した業者の割合は7.4ポイント減り、減少した業者の割合は8.5ポイント増えている。

※ 前年調査 増加 46.9%、維持 8.4%、減少 41.0%、不明 3.7%



部類別にみると、青果部では増加した業者が最も多く、その他の部類では減少した業者が最も多かった。

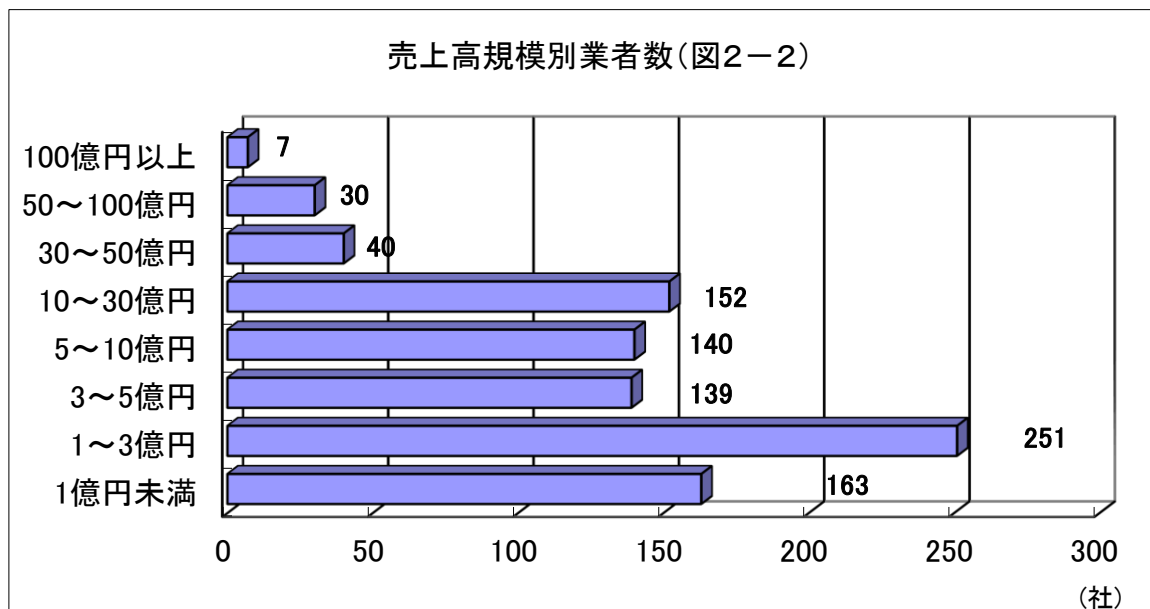
部類別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	39.5%	8.4%	49.5%	2.6%
水 産 物 部	36.9%	7.5%	52.6%	3.0%
青 果 部	45.3%	9.3%	43.0%	2.4%
花 き 部	38.5%	10.3%	48.7%	2.5%
食 肉 部	29.2%	12.5%	58.3%	—

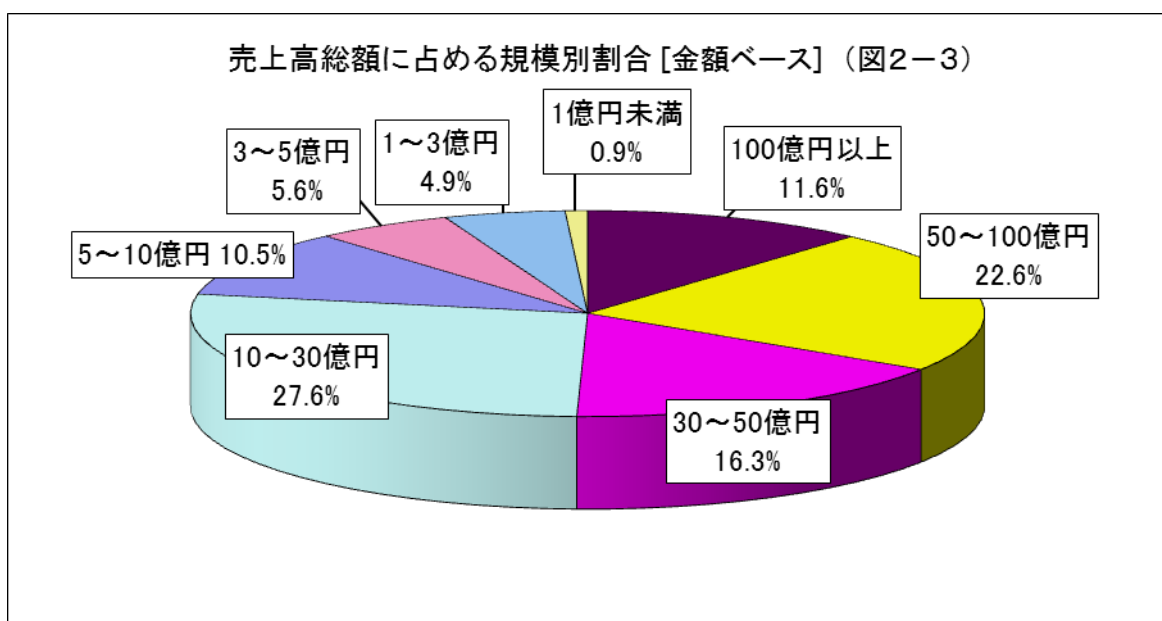
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

## (2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、売上高1億円以上3億円未満の業者が最も多い。また、売上高が3億円未満の業者で全体の44.8%(414社)を占めている。



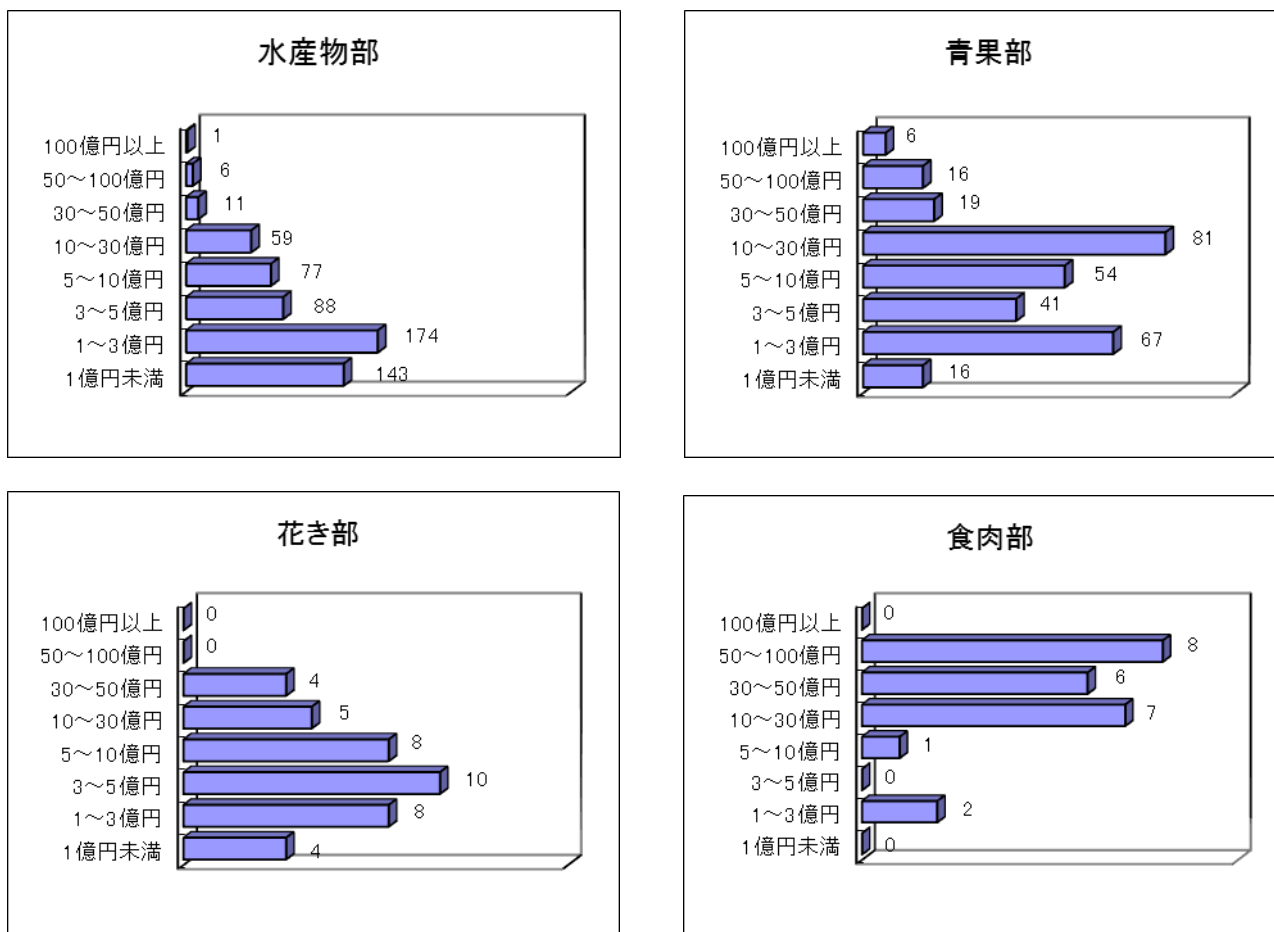
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、半数近くを占める3億円未満の業者のシェアは5.8%に留まっている。



### (3) 売上高の規模別・部類別業者数

部類別にみると、水産物部では1億円～3億円の層が、青果部では10億円～30億円の層が、花き部では3億円～5億円の層が、食肉部では50億円～100億円の層が最も多くなっている。

売上高規模別・部類別業者数（図2-4）



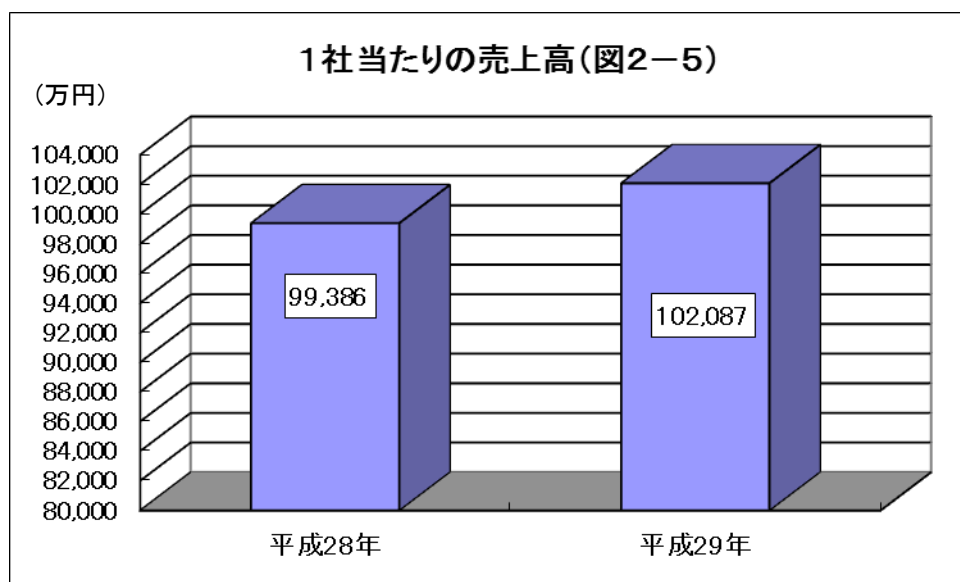
売上高規模別・部類別業者数（表2-2）

単位：社

	全 体	水 産 物 部	青 果 部	花 き 部	食 肉 部
100億円以上	7 ( 0.8% )	1 ( 0.2% )	6 ( 2.0% )	0 ( — )	0 ( — )
50～100億円	30 ( 3.3% )	6 ( 1.1% )	16 ( 5.3% )	0 ( — )	8 ( 33.3% )
30～50億円	40 ( 4.3% )	11 ( 2.0% )	19 ( 6.3% )	4 ( 10.3% )	6 ( 25.0% )
10～30億円	152 ( 16.5% )	59 ( 10.6% )	81 ( 27.1% )	5 ( 12.8% )	7 ( 29.2% )
5～10億円	140 ( 15.2% )	77 ( 13.8% )	54 ( 18.0% )	8 ( 20.5% )	1 ( 4.2% )
3～5億円	139 ( 15.1% )	88 ( 15.7% )	41 ( 13.7% )	10 ( 25.6% )	0 ( — )
1～3億円	251 ( 27.2% )	174 ( 31.0% )	67 ( 22.3% )	8 ( 20.5% )	2 ( 8.3% )
1億円未満	163 ( 17.6% )	143 ( 25.6% )	16 ( 5.3% )	4 ( 10.3% )	0 ( — )
合 計	922	559	300	39	24

#### (4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の9億9,386万円から10億2,087万円と、2,701万円(2.7%)増加した。



部類別にみると、前年に比べ水産物部と青果部は若干増加した。花き部と食肉部にはあまり変動はなかった。

1社当たりの売上高(表2-3)

	平成28年	平成29年	増減率
全 体	99,386 万円	102,087 万円	102.7%
水 産 物 部	54,540 万円	56,574 万円	103.7%
青 果 部	161,766 万円	164,250 万円	101.5%
花 き 部	86,809 万円	86,849 万円	100.0%
食 肉 部	410,691 万円	409,866 万円	99.8%

## (5) 売上総利益率の変化

売上総利益率(いわゆる粗利益率)は、全体では前年に比べ0.34%上昇した。部類別にみると、青果部、花き部及び食肉部では上昇した。

売上総利益率(表2-4)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	12.57%	12.91%
水 産 物 部	14.49%	14.47%
青 果 部	12.18%	12.59%
花 き 部	17.90%	18.28%
食 肉 部	6.59%	7.64%

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では上昇した業者が下降した業者を上回った。部類別でも、全ての部類で上昇した業者が下降した業者を上回った。

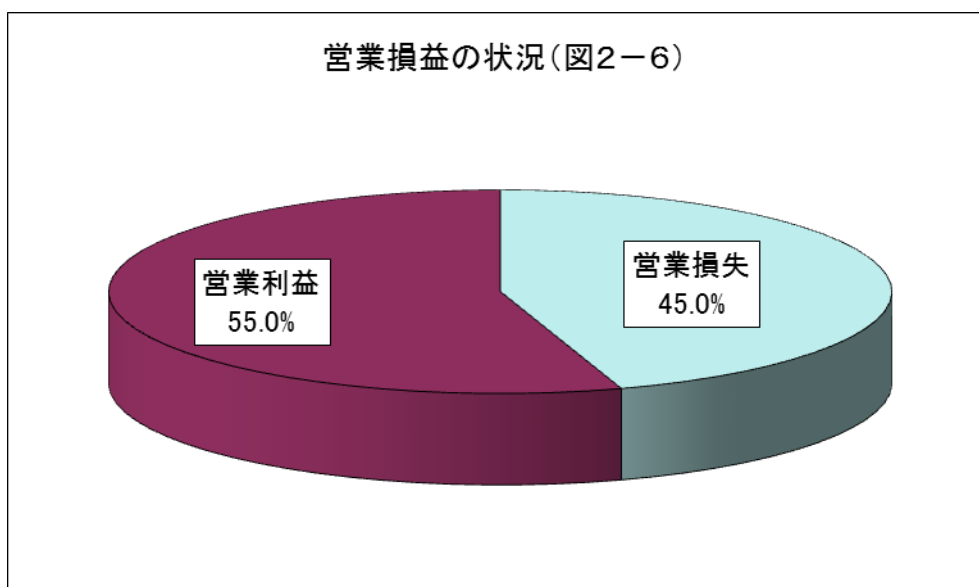
売上総利益率の変化(表2-5)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	53.1%	44.1%	2.8%
水 産 物 部	52.6%	44.4%	3.0%
青 果 部	51.6%	45.7%	2.7%
花 き 部	51.2%	46.2%	2.6%
食 肉 部	83.3%	16.7%	—

## (6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が55.0%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が45.0%となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が減少した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 57.1% : 42.9%



部類別にみると、全ての部類で半数以上の業者が黒字となった。

営業損益の状況(表2-6)

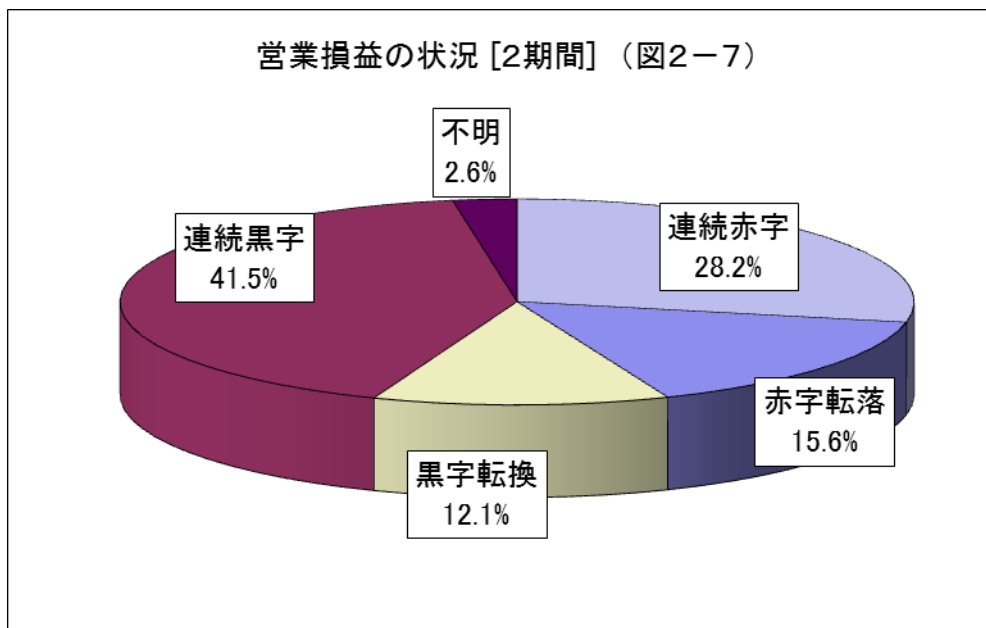
( ) 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	55.0% (57.1%)	45.0% (42.9%)
水 産 物 部	50.4% (54.6%)	49.6% (45.4%)
青 果 部	60.3% (60.0%)	39.7% (40.0%)
花 き 部	61.5% (66.7%)	38.5% (33.3%)
食 肉 部	83.3% (64.0%)	16.7% (36.0%)

## (7) 営業損益の状況(2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は41.5%、2期連続して赤字計上となった業者は28.2%となった。黒字に転換した業者は12.1%、赤字に転落した業者は15.6%となった。

※ 前年調査 連続黒字42.4%、黒字転換12.0%、赤字転落11.8%、連続赤字30.0%



部類別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉部が最も多かった。また、黒字に転換した業者の割合は、食肉部が最も多く、赤字に転落した業者の割合は、花き部が最も多かった。2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物部が最も多かった。

営業損益の状況(2期間)(表2-7)

( )内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	41.5% (42.4%)	12.1% (12.0%)	15.6% (11.8%)	28.2% (30.0%)	2.6% (3.8%)
水産物部	36.9% (40.1%)	12.0% (11.9%)	18.1% (11.3%)	30.0% (33.3%)	3.0% (3.4%)
青果部	48.1% (44.9%)	11.3% (11.8%)	11.3% (12.8%)	27.3% (25.9%)	2.0% (4.6%)
花き部	48.7% (47.6%)	10.3% (16.7%)	20.5% (14.3%)	17.9% (16.7%)	2.6% (4.7%)
食肉部	58.3% (56.0%)	25.0% (8.0%)	4.2% (8.0%)	12.5% (28.0%)	— ( — )

## (8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体では前年に比べ上昇した。部類別にみると、水産物部は赤字へ転落したが、青果部、花き部及び食肉部では上昇した。

営業利益率(表2-8)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	0.51%	0.59%
水 産 物 部	0.21%	△0.01%
青 果 部	0.75%	0.93%
花 き 部	0.60%	0.74%
食 肉 部	0.21%	0.79%

営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を部類別にみると、食肉部では上昇した業者が半数を超え、水産物部、青果部及び花き部では下降した業者が半数を超えた。

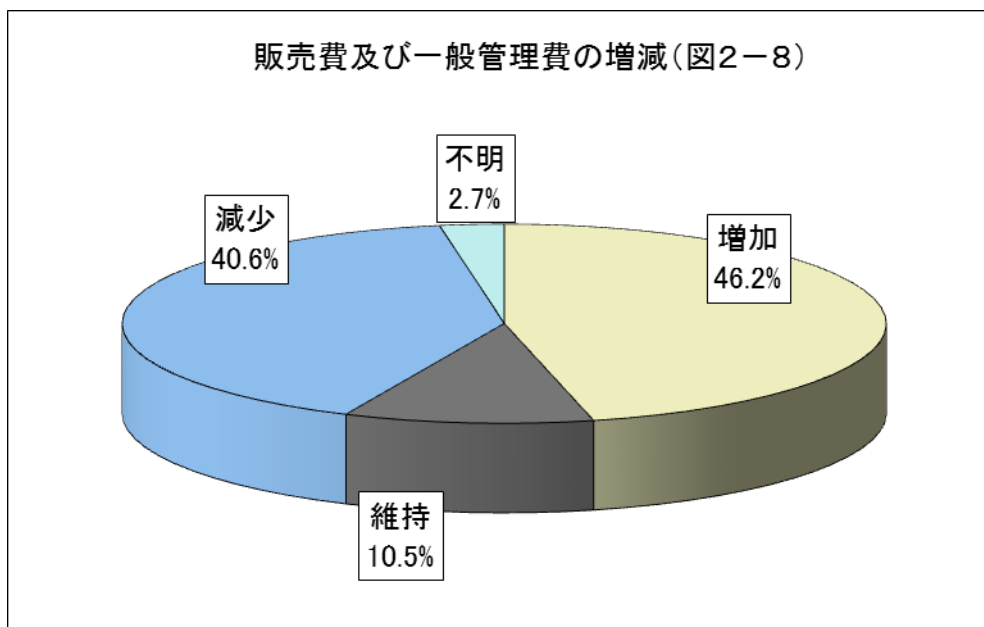
営業利益率の変化(表2-9)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	42.6%	54.6%	2.8%
水 産 物 部	40.5%	56.5%	3.0%
青 果 部	45.0%	52.3%	2.7%
花 き 部	38.5%	59.0%	2.5%
食 肉 部	70.8%	29.2%	—



### (9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費(以下、「販管費」)が減少した業者は40.6%、増加した業者は46.2%となった。



部類別にみると、全ての部類で販管費が増加した業者が減少した業者を上回った。

販売費及び一般管理費の増減(表2-10)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	46.2%	10.5%	40.6%	2.7%
水 産 物 部	45.6%	9.1%	42.1%	3.2%
青 果 部	46.0%	13.3%	38.7%	2.0%
花 き 部	51.2%	7.7%	38.5%	2.6%
食 肉 部	54.2%	12.5%	33.3%	—

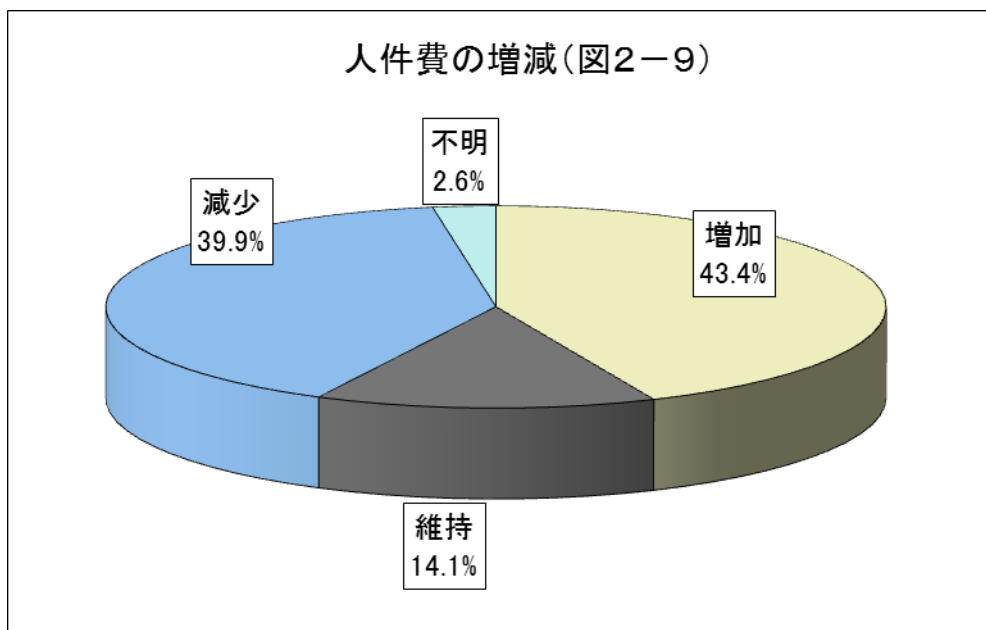
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

## (10) 人件費の増減

人件費(※)が増加した業者は43.4%、減少した業者は39.9%、維持した業者は14.1%となり、増加した業者が減少した業者を上回った。

※ 人件費 役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金 等

※ 前年調査 増加45.8%、維持15.2%、減少35.3%、不明3.7%



部類別にみると、水産物部は減少した業者が増加した業者を上回り、青果部、花き部及び食肉部は増加した業者が減少した業者を上回った。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全 体	43.4%	14.1%	39.9%	2.6%
水 産 物 部	38.8%	15.2%	43.0%	3.0%
青 果 部	50.0%	13.0%	35.0%	2.0%
花 き 部	51.2%	10.3%	35.9%	2.6%
食 肉 部	54.2%	8.3%	37.5%	—

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

### (11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ上昇した。部類別にみても、全ての部類で上昇した。

売上高対人件費比率(表2-12)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	6.25%	6.34%
水 産 物 部	8.18%	8.23%
青 果 部	5.55%	5.63%
花 き 部	9.40%	9.54%
食 肉 部	2.46%	2.70%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部は上昇し、青果部、花き部及び食肉部は下降した。

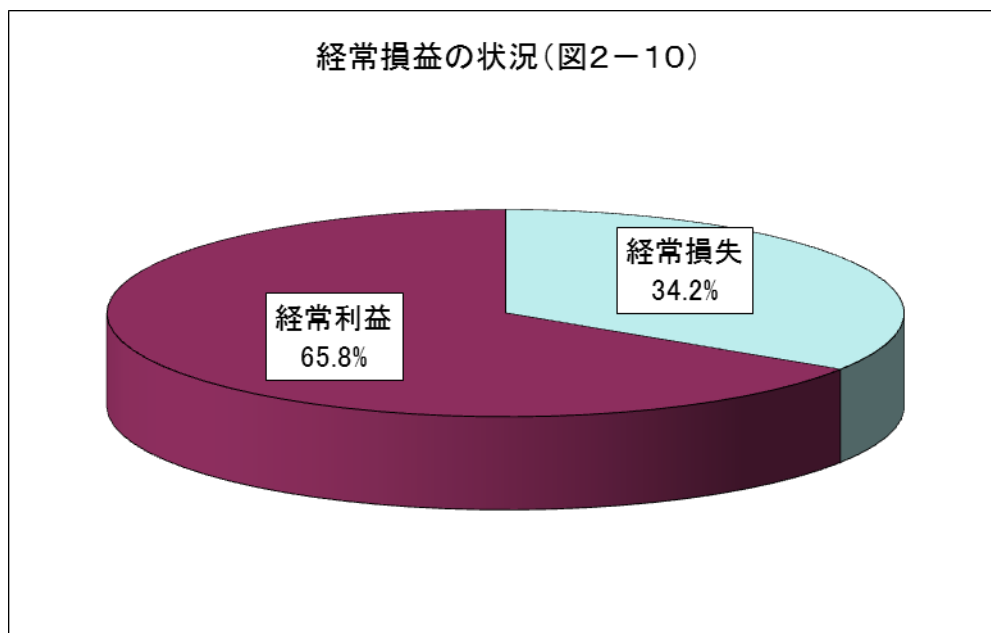
売上総利益対人件費比率(表2-13)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	49.72%	49.09%
水 産 物 部	56.47%	56.90%
青 果 部	45.60%	44.70%
花 き 部	52.50%	52.20%
食 肉 部	37.37%	35.26%

## (12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は65.8%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は34.2%と、前年に比べ黒字業者の割合が2.0ポイント減少した。

※ 前年調査 黒字:赤字 = 67.8% : 32.2%



前年と比較すると、水産物部、青果部及び花き部は黒字業者の割合が減少し、食肉部は黒字業者の割合が増加した。

経常損益の状況(表2-14)

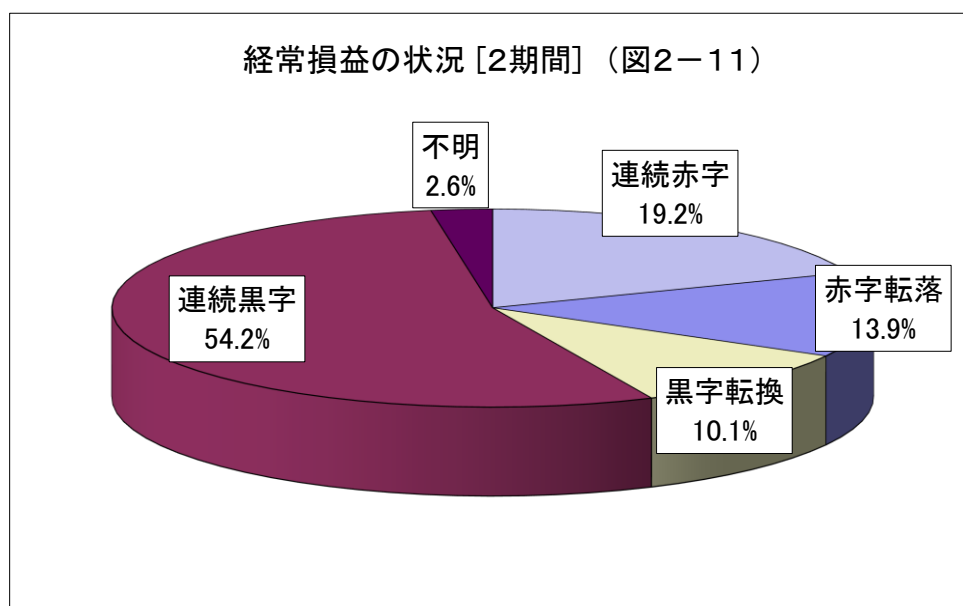
( ) 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]	経常損失 [赤字業者]
全 体	65.8% (67.8%)	34.2% (32.2%)
水 産 物 部	59.4% (62.3%)	40.6% (37.7%)
青 果 部	75.3% (76.1%)	24.7% (23.9%)
花 き 部	69.2% (76.2%)	30.8% (23.8%)
食 肉 部	91.7% (84.0%)	8.3% (16.0%)

### (13) 経常損益の状況(2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は54.2%となり、前年と比べ若干増加した。一方、2期連続して赤字計上となった業者は19.2%となり、前年に比べると若干減少した。また、黒字に転換した業者の割合は10.1%、赤字に転落した業者の割合は13.9%となった。

※ 前年調査 連続黒字54.0%、黒字転換11.1%、赤字転落11.1%、連続赤字20.0%



部類別にみると、全ての部類で連続黒字業者の占める割合が最も多く、青果部、花き部及び食肉部では半数を超えた。

経常損益の状況(2期間)(表2-15)

( ) 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全 体	54.2% (54.0%)	10.1% (11.1%)	13.9% (11.1%)	19.2% (20.0%)	2.6% (3.8%)
水産物部	47.0% (48.7%)	10.8% (10.9%)	15.9% (12.6%)	23.3% (24.4%)	3.0% (3.4%)
青果部	64.7% (61.6%)	9.3% (11.5%)	10.3% (9.5%)	13.7% (12.8%)	2.0% (4.6%)
花き部	61.6% (61.9%)	5.1% (11.9%)	17.9% (4.8%)	12.8% (16.7%)	2.6% (4.7%)
食肉部	79.1% (72.0%)	12.5% (12.0%)	4.2% (4.0%)	4.2% (12.0%)	— ( — )

#### (14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.84%と前年を上回った。部類別にみると、水産物部では下降し、青果部、花き部及び食肉部では上昇した。

経常利益率(表2-16)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	0.78%	0.84%
水 産 物 部	0.61%	0.41%
青 果 部	1.00%	1.10%
花 き 部	0.74%	1.01%
食 肉 部	0.25%	0.89%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を部類別にみると、水産物部及び花き部は下降した業者が上昇した業者を上回り、食肉部は上昇した業者が下降した業者を上回った。青果部は上昇した業者と下降した業者が同数であった。

経常利益率の変化(表2-17)

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	46.1%	51.1%	2.8%
水 産 物 部	43.5%	53.5%	3.0%
青 果 部	48.7%	48.7%	2.6%
花 き 部	46.2%	51.3%	2.5%
食 肉 部	75.0%	25.0%	—

### (15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、全体では前年に比べ減少した。部類別にみても、全ての部類で減少した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	8,762 万円	8,460 万円
水 産 物 部	6,432 万円	6,372 万円
青 果 部	10,617 万円	10,264 万円
花 き 部	4,474 万円	3,734 万円
食 肉 部	23,549 万円	21,619 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合を部類別にみると、全ての部類で減少した業者が増加した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	40.9%	56.2%	2.9%
水 産 物 部	39.9%	56.7%	3.4%
青 果 部	47.4%	50.3%	2.3%
花 き 部	30.8%	66.7%	2.5%
食肉部	—	100.0%	—

## (16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、全体では前年に比べ若干減少した。部類別にみると、食肉部では増加し、その他の部類では減少した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	1,101 万円	1,092 万円
水 産 物 部	932 万円	922 万円
青 果 部	1,293 万円	1,292 万円
花 き 部	801 万円	683 万円
食 肉 部	1,553 万円	1,653 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合を部類別にみると、青果部では増加した業者が若干上回り、水産物部、花き部及び食肉部では減少した業者が上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	41.9%	55.2%	2.9%
水 産 物 部	41.0%	55.6%	3.4%
青 果 部	49.0%	48.7%	2.3%
花 き 部	25.6%	71.8%	2.6%
食 肉 部	—	100.0%	—



### (17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、全体では前年に比べ減少した。部類別にみると、食肉部では若干増加し、その他の部類では減少した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	平成 28 年	平成 29 年
全 体	548 万円	536 万円
水 産 物 部	526 万円	525 万円
青 果 部	590 万円	578 万円
花 き 部	420 万円	356 万円
食 肉 部	580 万円	583 万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合を部類別にみると、青果部では増加した業者が減少した業者を上回り、その他の部類では減少した業者が増加した業者を上回った。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全 体	44.9%	52.2%	2.9%
水 産 物 部	45.3%	51.3%	3.4%
青 果 部	49.7%	48.0%	2.3%
花 き 部	30.8%	66.7%	2.5%
食 肉 部	—	100.0%	—